

■ 市長から市民のみなさんへ

市長 白井 博文



■ 国体まで 100 日を切りました

10月1日から始まる山口国体の本番まで残り100日を切りました。いよいよ近づいたという感じです。6月19日、^{きよか}炬火の採火式と集火式を挙行了しました。炬火とは、たいまつのことです。オリンピックの聖火のように国体の開催期間中、山口市のメインスタジアムで燃え続けます。採火は、本市が引き受けるサッカー、ゴルフ、軟式野球にちなんで、「おのだサッカー交流公園」ほか2か所で行い、この火を体育振興協会、陸上競技協会やスポーツ少年団の子どもたちが、市内を4ブロックに分け、交通量の多いところはパトカーに先導いただきながら、市民体育館までリレーで運んでくれました。体育館では、3つの火をひとつに集めて山陽小野田市の炬火としたうえ、公募作品の中から最優秀賞に輝いた高田清明さんの“^{きずな}がんばろう絆でつながる山陽小野田希望の火”を本市の炬火名に決定しました。本市の炬火は、今後市内各地から届く炬火を吸収してさらに大きくなり、10月1日、維新百年記念陸上競技場で行われる開会式の炬火リレーで、村上文男さん（今なお全日本マスターズなどで活躍されている長距離界のエース）によって引き継がれる予定です。

■ 江汐公園のトイレについて

ある市民から苦情の電話が架かってきました。「江汐公園を散歩中、孫が道路端のトイレを使おうとしたが、汲み取り式のために怖がり、結局用を足すことができなかった。市長は現地

を確認し、すぐに改修されたし。」

今どき汲み取り式とは…。お怒りももっともだと思います、念のために江汐公園を管理する都市計画課に尋ねてみました。その結果、次のことが分かりました。

江汐公園にはトイレがあちこち合わせて13か所あるそうです。そのうち10か所のトイレは水洗化されていますが、3か所は汲み取り式のままです。予算のため？そうではありません。江汐公園は広域避難所に指定されており、そのため災害時の断水を想定して汲み取り式3か所を意図的に残しているのだそうです。

ご迷惑をお掛けして申し訳ありませんが、どうぞ事情をご賢察のうえ、ご協力をお願いします。

■ 多重債務でお困りの方はいませんか

本市では、民間のNPO法人「ほっとの会」と協働して、消費者金融などの多重債務に苦しむ市民のために、相談・消費者金融からの取引履歴の取り寄せ・法定利率による再計算・過払額の有無の判定・返還請求・訴訟などを無料で引き受けたり、アドバイスを رفتたりしています（法定利率の計算だけ若干の手数料がかかります）。この数年で多くの市民がたくさんの過払額を取り返しました。NPO法人「ほっとの会」のメンバー（5、6人）も高齢化が進んでいます。心当たりの方は、どうぞ今のうちにご利用ください。

対話の日

7月21日(木) 19:00 ~
埴山自治会館